江別工業団地だより

ついしかり

令和4年1月17日 vol.154

■発行／江別工業団地協同組合　江別市工栄町15の1　電話384-3262■発行責任者／理事長 杉野邦彦■印刷／笹岡印刷株式会社

*広報「ついしかり」の名称は、江別の発祥の地「対雁」（現在の工業団地周辺）の地名からとったものです。

中山峠蓬莱山より羊蹄山を望む

撮影：葛西　利光さん

目　次

- 表紙　中山峠蓬莱山より羊蹄山を望む …… 1
- 年頭のご挨拶 …… 2~3
- 江別工業団地広報プロジェクト 企業紹介 …… 4~7
- 2021年度の健康診断結果まとめ …… 8~11
- 献血へのご協力ありがとうございます …… 12
- 普通救命講習Ⅰ開催 …… 13
- 健康体操ワンコインレッスン再開 …… 13
- 【予告】職長･安全衛生責任者教育講習会 …… 14
- 【予告】（低圧）労働安全衛生特別教育講習会 …… 14
- 【予告】親睦麻雀大会開催 …… 14
- ワクチン職域接種に感謝状 …… 15
- お知らせ　組合員の異動状況 …… 15
- 10.29 赤い羽根共同募金 …… 15
- クロスワードパズル応募についてのお願い …… 15
- 投稿記事･投稿写真募集中! …… 15
- 山登り同好会レポート …… 16
- わが郷土の歴史　その43 …… 17
- クロスワードパズル …… 18
- 組合予定行事 …… 18

令和四年
年頭にあたって

江別工業団地協同組合
6代目理事長
杉野　邦彦

組合員のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

日頃より組合運営にご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

今年は新型コロナウイルス感染が確認されてから早3年目になります。我が国の感染者数は減少しているとはいえ、新たなオミクロン株が感染拡大してきており、予断は許せません。

さて昨年末「今年の漢字」第1位は、前回の三密の「密」から一転して「金」でした。「金」が1位になった年は4回ありますが、すべてオリンピックの年です。コロナ禍の中で1年延期された東京五輪でしたが、今回の「金」は、無観客ではあってもテレビの前で国民が金メダルラッシュに歓喜した姿の現れかもしれません。

しかしコロナで失われたこの2年間という時は、まさに「時は金なり」の裏返しだったのではないでしょうか。実際に昨年7月に発令された第4回緊急事態宣言による経済損失は、開催中だった東京五輪の経済効果を大幅に上まわるという試算も出ています。

私たちの生活も大きく変わりました。リモート勤務者が増え、家庭内食需要が増加した反面、生活防衛意識の高まりや経済の停滞による需要減少は、特に観光業や飲食業に大きな打撃を与えました。我が工業団地の組合企業の中でも受注減少による影響は少なからず出ています。組合として少しでも組合員共通に支援できることとして、今年も引き続き共同受電事業の電気料金値引き率を引き上げさせていただきました。

さらに昨年7月15日から2ヶ月間、江別工業会館を活用してワクチンの職域接種事業に取り組みました。その間は多くの組合事業の中止や延期で大変ご不便をおかけしました。しかしこの間いち早く、中小企業に働く現役世代を中心に2回のワクチンを接種できたことは、少しでも停滞した地域経済の回復を早める一助になったものと思います。今回の接種人数は、江別工業団地協同組合、江別建設業協会、江別管工事業協同組合、江別商工会議所や市内のエッセンシャルワーカーの方々を含め、7,655名（合計15,278回接種）に及びます。江別市をはじめ、職域接種事業にご協力いただきました全ての関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

なお3回目の職域接種につきましても、アンケートの結果大多数が実施を望まれており、昨年工業会館で接種された方々を基本に、3月を目途に実施する予定です。恐らくアフターコロナもしばらくはウイルスとの共存が続くと思われますので、引き続き感染対策を徹底していきましょう。

江別商工会議所創立70周年記念事業の「江別駅前公園イルミネーション」の設置作業は、江別工業団地組合電力部も大活躍しました。3月いっぱい明るい希望の光をお楽しみ下さい。新しい年が明けて私たちはこれからも「チーム江別」の力を発揮して、少しでも組合活動を前に進めていけるように取り組んでいきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

年頭のご挨拶

江別市長
三好　昇

新年、あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族とともに健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、市政各般に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜わり、心から感謝申し上げます。

振り返りますと、昨年は、新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、2度の緊急事態宣言が発令されるなど、市民生活や市内経済への影響が続いた一年となりました。

こうした中、感染の重症化を抑えるため、昨年3月に医療従事者からワクチン接種を始めましたが、4月の予約の際には混乱を招き、ご迷惑をおかけしました。

その後、皆様におかれましては、組合の従業員や江別商工会議所の会員を対象に職域接種を実施され、市が要請したエッセンシャルワーカーも対象としていただくなど、市のワクチン接種の加速化に多大なるご貢献とご尽力を賜わりました。おかげを持ちまして11月末までに接種を行うことができましたことに、心からお礼申し上げます。

12月からは感染予防等のため、医療従事者から3回目の接種を開始しましたので、引き続き、ご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

9月には、江別版生涯活躍のまち構想により、大麻地区に「ココルクえべつ」が全面オープンし、高齢者・障がい者・若者が集う地域交流の場が設けられ、共生のまちの実現に向けた第一歩を踏み出すことができました。

さて、今年はコロナ禍により影響を受けた市内経済を回復するため、市内経済団体の皆様との連携のもと、国の経済対策、えべつプレミアム商品券などの地域活性化対策を、ウイズコロナ・アフターコロナを意識し進めてまいります。

また、昨年10月に発足した一般社団法人えべつ観光協会により、江別の宝「食・農・大学」を活かしたＮＥＷ観光の取り組みが期待され、春には、北海道林木育種場旧庁舎に本社移転する株式会社珈房サッポロ珈琲館の直営カフェが、新たなスポットとしてオープンします。

懸案の市立病院の経営につきましては、経営評価委員会からの提言を踏まえ、再建に向けたロードマップに基づき、着実に経営改善を進めてまいります。

これからも、新北海道スタイルに基づき、コロナ対応を最優先としながら、市の持つ優位性を活かした「協働のまちづくり」を進めてまいりますので、ご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

新たな年が皆様にとって輝かしい一年となりますよう、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

KALTECH COMPANY LTD.

株式会社カルテック

～「足場」を固め、社会を支える～

■「足場」の専門会社としての強み

株式会社カルテックは、１９７８年に建築資材のレンタル会社としてスタートした。建設現場での「足場」を専門的に管理し、道内各地に貸し出している。

かつて足場は、建設会社がそれぞれ保有していたが、コストパフォーマンスの観点からレンタルが主流となり、今では建築現場の９割が資材レンタルを使用するようになった。

建設現場のニーズを把握しながら、資材の流れを管理し、効率的に現場へ届ける仕組みが、カルテックの強みになっている。

～足場を運ぶ作業～

■会社の強みを生み出す社風

カルテックは、「良い人材が良い企業を作り、結果地域にも貢献出来る」という信念のもと、「明るく」「知的」で「挑戦的」であれ、という社風を育てている。北本札幌支店長は、「軽量仮設資材の足場があってこそ、建設が可能になります。無くてはならない存在として社会をしっかりと支える。その誇りを持って、仕事をするのです。古い時代に戻ることはできないが、新しい時代に向かってどう挑戦するかが会社の大切な使命なのです」と熱く語られた。

～会社の強みについて語る北本泰啓さん～

～企業情報～

株式会社カルテック

〒067-0051
江別市工栄町３－８

TEL：011-384-3411

代表取締役
川田　章博

取材を終えて

今回取材をさせて頂いて、足場がどれほど重要なのかが理解できました。また、表向きには目立たなくとも、カルテックのような会社が世の中や経済を支えているということを忘れず、私もそのような仕事がしたいと感じました。

（前列左）札幌支店長　道南営業所　統括
北本　泰啓さん

（前列右）事業部本部札幌支店　管理課
三浦　雅彦さん

若者へ向けて一言

若い人には前向きな姿勢で何事も頑張ってほしいと期待しています。建設現場のイメージが良くないかもしれませんが、社会基盤をしっかりと支える仕事です。一緒に頑張ってくれる若者を求めています。

江別の学生に地域の企業を知ってもらいたい。そして市内の企業へ就職するきっかけを作りたい。この江別工業団地には、高い技術と品質を提供する優良な企業がたくさんあり、また私たちの生活にとっても身近で親しみのある会社が多く存在します。札幌学院大学に協力を仰ぎ、学生の皆さんに企業を取材してもらうことで理解を深める機会をもうけました。長い時間をかけ学生が取り組んだ取材記事を、ご紹介いたします。

パナソニックLS物流株式会社

事業の柱は「サードパーティー・ロジスティクス事業」

■パナソニックLS物流㈱はパナソニックグループの7カンパニーのうちの一つであるライフソリューションズ社の物流業務を主に担っている。取扱商品の中心は、住宅関係のキッチンやドア等である。江別工業団地には昭和49年から拠点を置いており、45年経過した。

■パナソニックLS物流では、「サードパーティー・ロジスティクス事業」を展開している。そのロジスティクスとは、戦略的物流のことで、必要なモノを、必要な場所へ、必要な時に、必要な量だけ運ぶことである。さらに、サードパーティー・ロジスティクス事業とは、できるだけ費用をかけずに配送することを目的とした事業である。

事業を通じて人々のくらしと社会の発展に貢献

■この会社では顧客のニーズとマーケットの変化に対応した「最適物流サービス」の提供を目指している。

■近年、様々なビジネス現場においてIT化が進んでいるが、物理的配達はIT化できない。情報技術が発展し、インターネット販売が飛躍的に拡大する中、ロジスティクスの重要性が増している。インターネットで購入し、インターネット上で決済できても、箱に商品入れて運ぶことはITでできないため、機械や手作業となる。そのため、ロジスティクスに「物理的な場所や人を使う」という制約の中での発展が期待されている。

■最近では配送を担うドライバーの人手不足により、労働環境の悪化が問題視されている。法令を遵守しながら、配送方法の工夫をして対応している。

コラム ～取材を終えて～

パナソニックLS物流は、パナソニックの創業者である松下幸之助の意思をしっかりと受け継ぐ組織であり、社員全員が同じ方向を向いているように感じられた。ぜひ働いてみたい素晴らしい会社だと感じた。

企業データ
〒067-0051 北海道江別市工栄町20-9
TEL 011-383-1511
FAX 011-383-1555
代表取締役 田中 慎一

若者へ一言

森本所長（前）:「若い人にはもっとロジスティクスに興味を持ち、改革の先頭に立ってもらいたい。また、間違えることがあっても誠実に改める意識をもち、世の中に役立ちたいという強い意識を持って社会へ出てほしいと思います。」

清水所長（現）:「若い内にこそ、何ごとも積極的にチャレンジしてほしいと思います。」

取材にご協力いただいた
森本誠重前所長（右）
清水義和現所長（左）

株式会社 ヒノデコンクリート
HINODE CONCRETE

主要製品L型ブロックとは

株式会社ヒノデコンクリートは文字通りコンクリート製品を製作している。中でもヒノデの看板商品は、L型ブロックだ。L型ブロックとは、土どめなどに使われる商品で、その役割は多種多様である。

ヒノデの商品の特徴はなんといっても施工のし易さである。接合はブロックを積み上げるだけでよくボルトやネジが不要で土や砂利などを中に詰めるだけで済んでしまう。その使いやすさ故に、ホームセンターなどでも手に入り、一般の方々でも扱いやすい。近所で見かけるコンクリート塀にも多く使われているのではなかろうか。

コンクリートという材質は安くて重い。その為、輸送が広範囲に行なわれることはあまりない。多くの出荷先は札幌が多くを占めており西は小樽、南は千歳など消費先は近場だがそれら地域からの需要に応えている。いわば地産地消の代表格であるのだ。こう思うと、武骨なコンクリートブロックもより身近な存在にも感じられる。

化粧タイプのL字ブロックも

蒸らして固める作業

ここから札幌などの利用者へ

この穴がポイント！

若者への一言

コンクリートを扱ってるとキレイというよりはどちらかといえば泥臭い仕事とも思えるがそんな仕事も実は面白いぞと伝えたい。

また、高齢化は進んでいるもののベテランの仕事に対する責任感は目を見張るものがある。そこから若い人は刺激を受けてほしい。

代表取締役
金子　和秀さん

取材を終えて

まず、ホームページの見やすさから多くの需要に応えたい気持ちが伝わりました。そして、工場を見渡すと、どこかで自分もお世話になっているなと感じる製品ばかりでした。

取材時にはとても温かく接していただきました。ありがとうございました

企業情報
会社名　株式会社ヒノデコンクリート
所在地（本社）〒067-0051
北海道江別市工栄町7番地6
TEL 011-385-8596

江別の学生に地域の企業を知ってもらいたい。そして市内の企業へ就職するきっかけを作りたい。この江別工業団地には、高い技術と品質を提供する優良な企業がたくさんあり、また私たちの生活にとっても身近で親しみのある会社が多く存在します。札幌学院大学に協力を仰ぎ、学生の皆さんに企業を取材してもらうことで理解を深める機会をもうけました。長い時間をかけ学生が取り組んだ取材記事を、ご紹介いたします。

株式会社丸正久保総業

▲常に前を向き後悔はしない▼

株式会社丸正久保総業
代表取締役
久保　浩美
〒069-0813
北海道江別市
野幌町69-10
TEL011-382-3236

幅広い業種と自慢の仕事

株式会社丸正久保総業は土木建設、資材販売、資材搬送、塗装工事など、幅広い事業を展開している。
これらの事業の中でも特に目玉となるのが給食配送である。

対象は江別市全ての給食

株式会社丸正久保総業は江別市の給食配送が開始されてから江別市全ての小中学校へ給食を配送している。しかしながら、給食を配送する際に学校ごとで搬入口の大きさに違いがあるため普通のトラックでは搬入が難しい。そこで、搬入口に合わせて高さを調整できるトラックを六台特注し、この問題を解決した。

特殊トラック

子ども達からの感謝のお手紙

市からの感謝状

地域との密接なつながり

株式会社丸正久保総業は給食配送の他にも小学校のスキー授業のための雪山作成を行っている。雪山作成時にはきれいな雪だけを集めて作り、子供たちが気持ちよく雪山を滑れるよう気を付けていると話してくれた。さらに市内の駐車場の除雪なども行っており、久保社長は積極的に地域との密接な関係を築いている。

若者へ一言

代表取締役
久保浩美さん

「後悔はするな」今の若者へ何事にも挑戦する姿勢をとっていくことが大切と話してくれた。反省はしても後悔はしない。従業員に常日頃言っているこの言葉は、今の若者へもぜひ伝えたいと熱く語ってくれた。

取材を終えて

今回の取材を終えて学んだことは心意気や経営はもちろん、些細な気遣いなどが仕事にも人間関係にも大切だということです。今後の私たちが社会に出た時に役立つアドバイスを多岐にわたり語っていただきました。

2021年度の健康診断結果まとめ

2021年度健康診断は、598名（男性：503名、女性：95名）の方が受診されました。この結果をもとに有所見者の状況や生活習慣の状況をまとめました。

● 健康診断受診状況

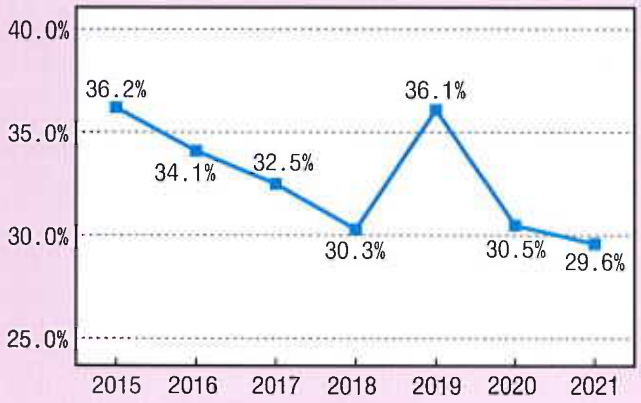
年　代	男　性	女　性	合　計	%
10代	1人	1人	2人	0.3%
20代	35人	6人	41人	6.9%
30代	67人	19人	86人	14.4%
40代	110人	18人	128人	21.4%
50代	120人	24人	144人	24.1%
60代以上	170人	27人	197人	32.9%
合　計	503人	95人	598人	100.0%
%	84.1%	15.9%	100.0%	

受診者は40代以上の方が全体の8割弱を占めています。

男女の比率は、男性 84.1%、女性 15.9%となっており、昨年と同様でした。

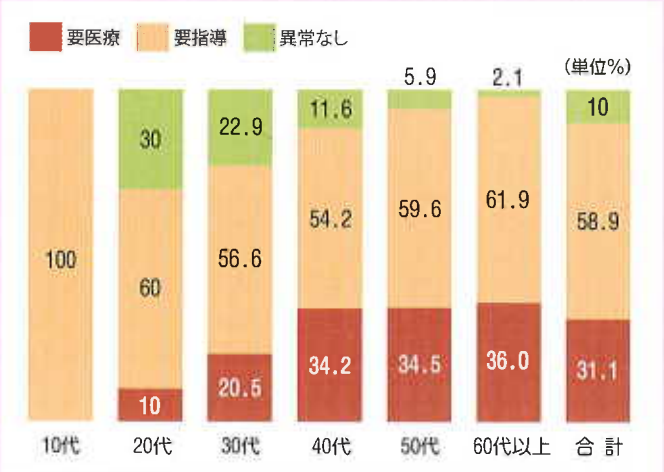
（※2020年度と同割合でした。）

● 要医療者率（健康診断で治療や精密検査が必要と判断された方の割合）の経年変化



2015年度以降、要医療者率は30%台で推移しています。2019年度からは減少傾向ですが、医療中断者などがいないかの確認をお勧めします。要治療や要精密検査の判定が出た方には、必ず受診するようご本人へのお勧めをされますことと、会社ぐるみで、生活改善⇒データ改善への取り組みが必要と思われます。

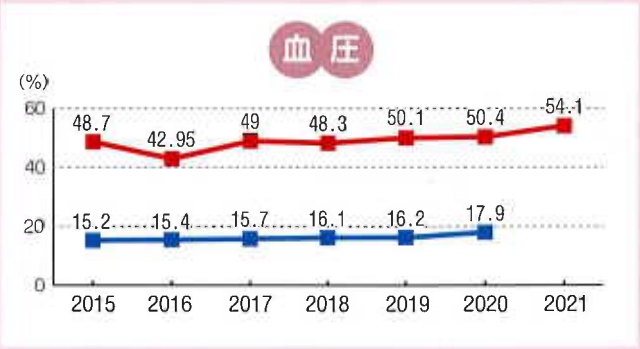
● 有所見者の状況



2021年度の江別工業団地様の有所見者率は90%でした。昨年度とほぼ同率で、全国の有所見率.58.5%（2020年度）と比較するとかなり高い割合です。有所見者率は年齢と共に上昇しますが、若い年代（20、30代）から、高めの傾向にあるのが気にかかります。食生活や運動など日頃の生活習慣を振り返るよう心掛け、組織ぐるみで健康づくりに取り組むなど、早急かつ継続的な対策をお勧めします。

● 検査項目別有所見率の経年変化

特に有所見者が多い4項目（脂質、血圧、肝機能、血糖）について全国値（2020年度が最新）と比較してみます。



◆全国的に、血中脂質、血圧、肝機能、血糖の有所見率が高くなっています。江別工業団地様のデータのいずれの項目も全国データを大きく上回っていることがわかります。

※血圧以外の項目は2020年度からデータ改善しているように見受けられますが、若年者の方の血液検査を実施するようになり、正常値の方が若干増加した（分母に加わった）ことが影響している可能性があります。血圧は有所見率が微増しており、まず、日々の血圧測定や減塩、運動に取り組んでいくことをお勧めします。

◆血中脂質、血圧、肝機能、血糖は、**高値であっても自覚症状がない場合が多く、生活改善や受診につながりにくい傾向があります。**その状況を長期間放置しておくことは確実に血管にダメージを与えます。動脈硬化が進み、心疾患や脳血管疾患の引き金になりかねません。進行すると、日常生活に支障をきたすこともあります。

健診結果で「所見あり」の方へ!! ～年に一度の健診結果の有効活用を!!～

●要精密検査・要再検査の方は

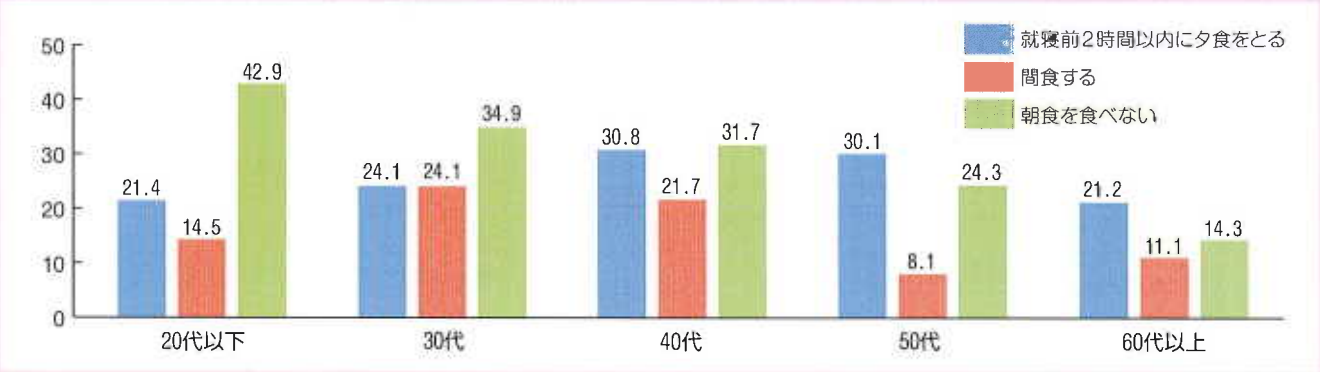
必ず受診(再検査の場合は該当月を目安に)しましょう。検査を受けて異常がない場合は、生活習慣のアドバイスを受けましょう。治療が必要な場合でも病状の悪化予防、回復につながります。

●生活注意・経過観察の方は

食生活の工夫や運動、休養に心掛け、改善に向けてチャレンジしてみましょう。

次に、問診票結果から江別工業団地様の生活習慣について2021年度の傾向をみてみましょう。

● 間食をする人や朝食を食べない人などの割合 （※いずれも週3回以上）



朝食の欠食率は、厚生労働省の『国民健康・栄養調査』（※2020年・2021年調査はコロナ禍で中止）の経年変化によると、2007年以降、男性15%程度、女性10%程度で推移しています。江別工業団地様のデータをみると、若年世代の欠食率が特に高くなっており、また、全世代で就寝前2時間以内に夕食を摂る人の割合が2～3割になっています。夕食後の間食率は40代以下で昨年度より上昇傾向でした。

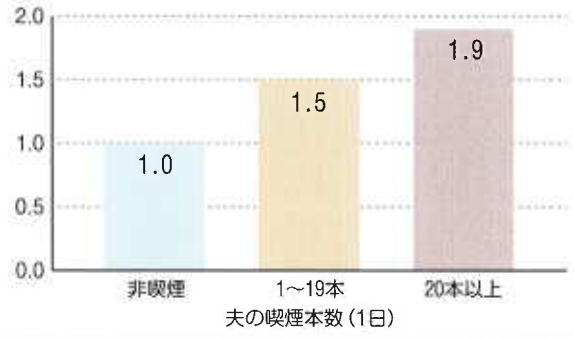
＊朝食を摂り、夕食後の間食を控えることにより、体重が減少し、血中脂質が改善したとの報告があります。また、遅い時間や就寝前の飲食は肝臓に負担がかかり、肝機能低下につながることもあります。

朝食を摂り、夕食後の間食を控えましょう!!日中の間食やドリンクの内容を見直してみませんか。

● 喫煙習慣のある人の割合

夫の喫煙と妻の肺がん死亡率（妻は非喫煙者の場合）

（資料：函館市HPより）

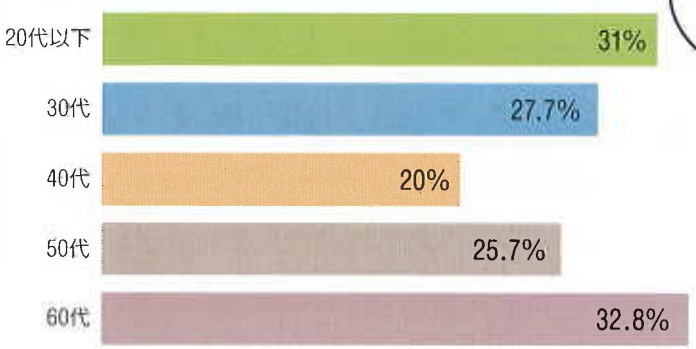


国民健康・栄養調査（2019年調査　※2020年・2021年調査はコロナ禍で中止）によると、喫煙習慣のある人は男性27.1%、女性7.6%となっており、この10年間で減少してきています。江別工業団地様のデータを見ると、各年代ともに全国平均を大きく上回っています。※一昨年に比べ、20代30代の喫煙率は各10%以上低下していました。

タバコの害についてはよく知られていますが、副流煙（タバコの先から出る煙）には、有害物質が多く含まれ、この煙を周囲の人が吸う受動喫煙が大きな健康問題になっています。夫が喫煙者か非喫煙であるかで、妻の肺がん死亡率に大きな差が見られているとの報告もあります。周囲の人の健康を守ることについても考えてみましょう。

大切な人の健康を守るためにも、禁煙について考えてみましょう。

● 運動習慣のある人の割合



国民健康・栄養調査（2019年調査 ※2020年・2021年調査はコロナ禍で中止）によると、運動習慣のある人の割合は男性33.4%、女性25.1%となっています。江別工業団地様のデータを見ると、男性が28.6%、女性が22.1%と、いずれも全国を下回っています。

一般的に、運動しない理由について、「面倒だから」「忙しくて時間がとれない」「運動が嫌い」などが理由となっているようですが、江別工業団地様のデータの背景にある要因についても今後、分析できると良いかもしれません。

*厚生労働省は**「+10（プラステン）運動」（10分間の運動）を、1年継続すると1.5～2kg減が期待でき、それは内臓脂肪の減少につながり、血圧や各血液データを改善し、生活習慣病やガンの発症率を低下させる。」**と述べています。

今より10分多く体を動かすだけで、病気の予防につながります！

江別工業団地の皆様へ

毎年、健康診断を受診いただきありがとうございます。

皆様の健康診断は『労働安全衛生法』という法律に基づいています。企業は、従業員に健康診断を実施し、従業員もその指示に従うことが求められます。健診結果によって、雇用主は、就業場所や業務内容の変更、労働時間の短縮等の適切な措置をとらなければなりません。

健康診断は、健康であるか、病気の危険因子があるか否かを見ていくもので、病気を早期に発見し、早期に治療することを目的としています。

今回の江別工業団地様の健康診断結果から、全国の傾向と共に見えたこともあると思いますが、年々若干の悪化傾向にあるようですので、皆様の各職場におかれましても、職場ぐるみでより一層の生活改善に向けての取り組みにつながっていかれますと幸いです。

ぜひ、お元気に活躍できるため、10年先、20年先も健康に過ごせるよう、健診結果を大いにご活用いただけたらと思います。

江別工業団地協同組合　組合員の皆様へ

日頃より献血にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。
令和３年11月16日（水）に献血バスがお伺いした際の協力人数は、以下の通りです。

（人）

実施時間	受付人数	200mL献血	400mL献血	中止	採血人数
8:00～15:00	60	1	51	8	52

たくさんのご協力ありがとうございました！

献血ルームの来場者が減少しています！

北海道では、安定して輸血用血液製剤を医療機関にお届けするために、計画的に献血の受け入れを行っています。

赤血球製剤（200mL・400mL 献血由来）の多くは、献血バスにより事業所や街頭でご協力をいただいていますが、献血バスでご協力いただけない方のために献血ルームでも、ほぼ無休でご協力をお待ちしています。

札幌市内４か所の献血ルームでは、１日合計300人以上の協力を必要としていますが、現在は250人程度に留まり、また医療機関での血液使用が増加していることから血液センターの血液在庫がかなり少なくなり、北海道外の都府県から血液を受け入れています。

つきましては、皆様の周りの方々にも是非献血のご協力を呼び掛けていただきたくお願いいたします。

また、組合員の皆様におかれましては、次回献血可能日が来ましたら、再度献血にご協力いただけますようお願い申し上げます。

新型コロナワクチン（ファイザー社製・モデルナ社製）については接種後、48時間を経過すれば献血可能となります。
注）献血時にワクチンの副反応の症状がないこと。アストラゼネカ社製は現在献血不可。

新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCRまたは抗原検査）で陽性になったことがある方は、症状消失後（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）４週間が経過すれば献血可能となります。

新型コロナウイルス感染症が疑われる症状※1があり、新型コロナウイルス検査（PCRまたは抗原検査）を受け、結果が陰性であった場合は、症状出現日から２週間及び症状消失から３日経過すれば献血可能となります。

※1：発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気、嘔吐など

北海道赤十字血液センター
札幌市西区二十四軒２条１丁目
TEL　0120-506-673
定休日：土曜日

大通献血ルーム
札幌市中央区大通西４丁目
札幌大通西４ビル11階
TEL　0120-638-105
定休日：第３木曜日

アスティ献血ルーム
札幌市中央区北４条西５丁目
アスティ45ビル７階
TEL　0120-324-545
定休日：第４木曜日

新さっぽろ献血ルーム
札幌市厚別区厚別中央２条５丁目
Duo-1地下１階
TEL　0120-255-592
定休日：duo1定休日

二次元バーコードから、
献血ルームまでの
道順を動画で見ることが出来ます。

【お問い合わせ】
北海道赤十字血液センター献血推進課
電話：011-613-8335（平日９：00～17：00）

普通救命講習Ⅰ開催

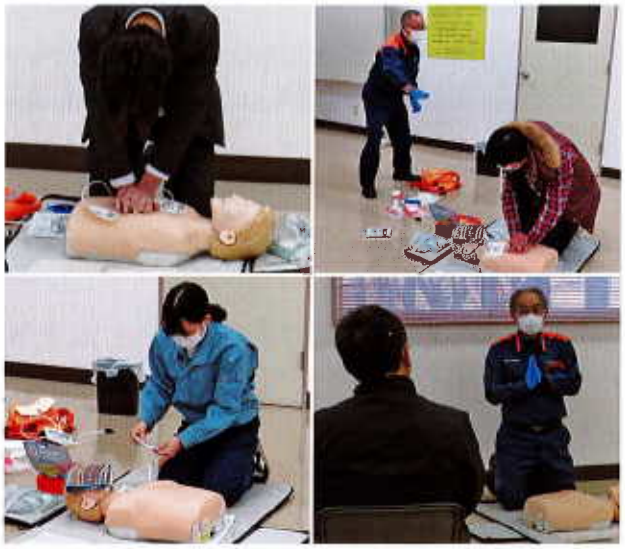
「普通救命講習Ⅰ」を11月17日（水）、18日（木）に新型コロナウイルス感染拡大防止対策として人数制限を設け工業会館1Fホールで開催されました。二日間で組合員6企業22名が参加し講義と実技を受けられました。今回の講師は、江別市消防署応急手当指導員　佐藤和彦氏です。

講習の初めに工業団地内で発生した事故に触れ、佐藤指導員も出動した際に従業員の的確な行動に驚いたとお話しいただきました。

そして過去に起こった事故現場のAEDが録音した緊迫した音声を聞いた後、心配蘇生法、異物除去法、止血法骨折に対する応急手当を学び最後にAEDの使用方法を実践しました。今回は通常の講習に加えて新型コロナウイルス感染症対応としてすべての心停止者に感染があるものとして対応が必要であると追加の講習もありました。

3時間の講習終了後は消防署より修了証が交付されました。参加者の皆様お疲れ様でした。

最後に佐藤和彦氏は今回の講習では2日間とも優秀な方が多く何度か救命講習を受けられている方もいて、工業団地内は安心ですねとのお言葉をいただきました。



健康体操ワンコインレッスン再開

日本フィットネス協会理事　健康経営アドバイザーの山田泰子先生を講師としてお招きし、健康経営の一環として、健康体操ワンコインレッスンを毎月1回開催しています。7月から新型コロナウイルスの影響で開催を延期していましたが、10月からまた再開されました。

2021年度の健康診断の結果によると江別工業団地は脂質、血圧、肝機能、血糖のどれも全国データを大きく上回っており、特に血圧の改善の為には日々の血圧測定や減塩の他、適度な運動が勧められています。健康体操ワンコインレッスンでは組合の方だけの少人数での講座なので、無理せず自分のペースで運動することができ、先生に自分に合った運動を教わることもできます。また会場のスペースはまだまだ余裕があり、ストレッチポールやマットもご用意させていただいておりますので道具を揃える必要もありません。

職場ぐるみで生活習慣の改善の取り組みとして1回ワンコイン（500円）でできる講座へのご参加をお待ちしております。

工業団地協同組合で近日開催予定の講習会・イベント予告です

職長・安全衛生責任者教育講習会　2月15日㈫～16日㈬ 開催

製造業、建設業では、新たに作業中の労働者を直接指揮・監督する立場となった者への教育が必要です。（労働安全衛生法第60条）建設業で50人以上の労働者が働く工事現場（ずい道等の建設の仕事等は30人以上）に入る下請業者は、安全衛生責任者の選任が必要です。（労働安全位衛生法第16条）この安全衛生責任者が労働災害を防止するために適切な業務を遂行するために必要な教育内容が厚生労働省から示されています。

受講者には組合理事長名による「修了証」を交付いたします。

昨年の様子

（低圧）労働安全衛生特別教育講習会　3月2日㈬ 開催

電気設備の整備や保守管理、適正な作業の遂行を図るとともに、電気取扱業務の従事者は、その作業を安全に行うための知識及び技能を有する事が重要です。

労働安全衛生法及び厚生労働省通達で定められたカリキュラム（8時間）に基づく受講内容で行います。なお、受講者には　一般社団法人　日本電気協会北海道支部による「修了証」を交付いたします。

昨年の様子

親睦麻雀大会開催　2月26日㈯ 予定

福利厚生事業の一環として組合創立後まもなくスタートした親睦麻雀大会も47回目を迎え、その伝統を引き継いでおります。本年も上記の日程で開催いたしますので、組合員の参加をお待ちしております。

コロナウイルス感染状況によっては、定員人数が変更となる場合があります。開催にあたっては感染拡大防止対策をとって実施します。

① 席の間隔をあけて受講できる体制にします。

② 入り口にアルコール消毒液を設置いたします。ご来場の皆さまにおかれましては、「手洗い」や「マスクの着用」などの感染症予防対策へのご協力をお願い致します。

③ 会議室・ドアノブ・机の消毒の徹底

④ 体温計の設置、予防対策としてマスクの着用を推奨しております。

⑤「マスク」については、各自でのご用意をお願いします。

新型コロナワクチン職域接種に感謝状が贈られました

12月24日（金）組合工業会館において、北海道中小企業団体中央会様より、杉野理事長が感謝状を授与されました。

この表彰は、令和3年7月15日～ 9月15日に実施した、新型コロナワクチン職域接種に関し、ワクチン接種の推進及び組合員・地域住民の健康促進に大きく貢献したことを認められたものです。

この事業は、江別工業団地協同組合が主体となり、江別商工会議所、江別管工事業協同組合、江別建設業協会の4団体で取り組みました。

お知らせ

■代表者変更

組合員名	カワサキ資材株式会社
新代表者	神林美穂
操業場所	江別市工栄町8番地の10
変更年月日	令和3年10月

■新規組合加入

企業名	株式会社ドリーム
	本社：江別市工栄町8番地の11 （ニホンフラッシュ敷地内）
操業場所	江別市工栄町21番地の22
操業開始日	令和3年11月1日
事業の種類	運送業

10.29 赤い羽根共同募金

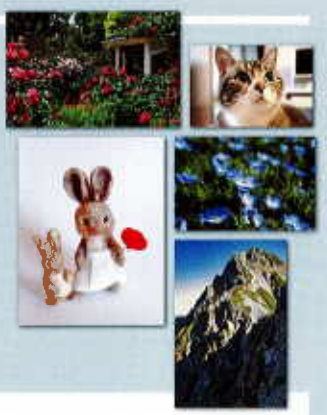
共同募金は、戦後間もない昭和22（1947）年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律（現在の「社会福祉法」）に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

江別工業団地組合では平成13年より篤志として毎年30万円を福祉活動の資金の一助として、サポートさせていただいております。

投稿記事・投稿写真募集中!

江別工業団地協同組合では、表紙写真と投稿記事を募集しています。ペットやガーデニングなど、ご趣味を紹介していただいたり、ご自分で撮影した写真や絵などの投稿をお待ちしております。ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。



江別工業団地協同組合
TEL：011-384-3262　担当 千種（ちぐさ）

クロスワードパズル ご応募についてのお願い

前回クロスワードパズルの景品応募について、「他人の名前（ご親戚、お友達など）を使って応募しないで下さい」とお知らせさせていただきましたが、今回もまた複数枚見つかりました。景品を送られた方より「頼んだ覚えがない」「応募していない」という電話が組合に来ています。フィッシング詐欺や運送会社を名乗る詐欺が横行していますので本当にやめてください。

次回より、クロスワードの投稿の際は、ボールペンまたは、マジックなどで直筆での回答のみとさせていただきます。

令和3年

山登り同好会 Report

5月からスタートし10月まで企画した山登りも、コロナウイルス感染予防のため7月と10月の2回のみ実施となりました。その2回の山登りの様子をお知らせします。

記録者／事務局　村田京華

第1回　7月4日（日）
白樺山～長沼～チセヌプリ …… 14名参加

ニセコ近郊の山開きが行われた少し後、花盛りの白樺山～長沼～チセヌプリと縦走してきました。

天気は晴れ時々曇り。新見峠駐車場から白樺山を目指し登り始めると早速、黄色（エゾカンゾウ）、白（ゴゼンタチバナ）、薄紫（オダマキ）と綺麗な花々がお出迎えです。緩やかな勾配を40分ほど進むと尾根にでますが、途中でタケノコを山ほど採り、選別している方に出会いました。凄い数のタケノコ・・まだタケノコ採りは終わってなかったのね、と、感心する私です。

尾根が終わると、ちょっと急な岩場を一気に登り、頂上です。頂上は狭いので、一人ずつ写真を撮ったら、直ぐに長沼を目指して岩場を下ります。長～い下りをようやく降りたら長沼到着。ここで昼食＆集合写真をパチリとともに、長沼からチセヌプリに行く人、神仙沼へ行く人と2通りに分かれます。

私は、もちろん？神仙沼組です（笑）。綺麗に咲く花々を愛でながら、てくてく歩き、集合場所の駐車場でチセヌプリ組を待ちます。チセヌプリ組は物凄いスピードで岩場をグングン進み、反対側へ降り、私達から遅れることわずか1時間半余り・・さすがです!!皆さん!!と、しみじみ尊敬しました。私がついていっていたら更に1時間は遅れただろう・・と、思います。

ちょっと長いコースですが、綺麗なお花を見れる楽しい山登りですよ。皆さんも、是非一度行ってみましょう！

第2回　10月17日（日）
焼山（662.5m）…… 16名参加

中山峠にどっさり雪が降った朝、しばらくお休みとなっていた山登りの再開です。集合場所は豊滝除雪ステーション。江別を出発する時は嵐のように雨が降っていて「今日は中止かなあ??」と思いながら進むと、札幌市内は晴れ。安心して集合場所までたどり着くと、駐車している車に大量の雪が・・。そうです、中山峠から降りてきた車でした。今日は、雨に濡れて登るのかしら？それとも雪??と、考えながら、山登りのスタートです。

焼山は別名豊平山（ほうへいざん）とも呼び、藤野3豊山の一つです。標高662.5mとそんなに高くありませんが、正三角形の山を真っすぐ登るので、急勾配が続くピリリとした山です。今日は山頂ライブを予定して、演奏家の葛西さんは20キロ近い機材を山登りの道具の他に背負い、急勾配をスイスイと進みます。それなのに、私ときたら山登りの道具だけなのに、急勾配が苦しい～!!おまけに狭い登山道に大量の落ち葉がありちょっと間違うと登山道を踏み外しそう!!7合目からは風と雪で景色が見えず、過酷な山登りでした。あ～今日も登ってしまった。。と後悔し、いつも進んでます（笑）。

急いで登って頂上で集合写真をパチリ。すぐに引き返し、5合目付近でライブです。周りに木があるため、多少の風は防げますが、寒かった～！でも、葛西さんのサックス演奏と和歌ちゃん歌姫の声は心に響く～!!! みんなで踊って歌って寒さを忘れるライブでした。一緒に登った皆様、お疲れ様でした(^^♪　来年こそは、6回登れますように祈ります。

冬はチビッ子スキー場で賑わう

わが郷土の歴史　その43

市民憩いの場 飛鳥山公園

道内4番目の低い山 標高17.5m

（江別の歴史を伝える集い会員・一般財団法人北海道文化財保護協会理事）石垣　秀人

江別市立病院の北向いに位置する飛鳥山公園（緑町西２丁目）。公園には野球場（1950（昭和25）年開設）、テニスコート、多目的広場（旧陸上競技場）、グリーンボールコースなど施設がある。積雪期の冬はチビッ子スキー場、歩くスキーなどで賑わう、四季を通して市民憩いの場として親しまれている。山頂には江別屯田兵村の開村記念碑、伊東音次郎の歌碑、それに日露戦争以降の戦没者と殉役軍馬を慰霊する殉役忠魂碑などが建立されている。公園面積9.9㌶、1958（昭和33）年に都市公園に指定された。

野球場とテニスコートの間に「飛鳥山」の由来である「山」がある。標高17.5m、造成したものではない自然の山である。道内では４番目に低い山としてランクされている。何㍍以上であれば「山」といった明確な定義はないそうだ。国土地理院が地形図に載せる条件としては「地元住民が山と呼んでいるか」「地元自治体が公式名称としているか」「国土地理院が記載を妥当と判断するか」の３点に当てはまれば「山」となる。

江別市街地は全体的に平坦な野幌丘陵地でいくつもの古砂丘が形成されている。これらの丘は古くから街の人々に親しまれて萩ヶ丘（神社山）、坊主山などと呼ばれてきた。飛鳥山もその一つで、地形図に表記されたのは古くから呼ばれていたことによるもの。

飛鳥山の呼称は1887（明治20）年、琴似屯田兵村から屯田兵第三大隊長として江別に転任した野崎貞次少佐により名付けられたと言われる。野崎少佐が東京にある「飛鳥山」に似た処があるというもので、そのまま名付けたものだった。当時屯田兵員の通称語ともなり、屯田事務局でもそれ以来この丘陵地帯を飛鳥山と称した。元は江別屯田の公有地だった。

▲光雲寺境内に移設された観音様（緑町西2丁目）

東京の『飛鳥山』とは昨年、ＮＨＫ大河ドラマ「晴天を衝け」で話題になった主人公渋沢栄一が、人生後半を過ごした邸があった東京都北区王子の飛鳥山のことである。日本の近代化に貢献した渋沢栄一が明治維新後の日本の発展のために洋紙が必要であると考え1873（明治6）年、西洋式の大規模な製紙工場「抄紙会社（後の王子製紙王子工場）」を東京・王子に設立、1875（明治8）年に工場を創業した。製紙工場を眼下に見守ることができるとして飛鳥山に邸を構えたとも云われている。

1890（明治23）年、飛鳥山に屯田兵の守護神として山の上に飛鳥山神社（江別神社の前身）が創建された。1893（明治26）年に市街地と共同で村祭りをしたいという兵村会の総意で現在の萩が岡に移った。1916（大正5）年には競馬場が造られ、草競馬はもとより、江別小学校や富士製紙の運動会など開かれた。1928（昭和3）年、公認の競馬場が設けられ、春・秋に地方競馬が行われていたが、1934（昭和9）年に元江別（旧町村農場の隣接地）に移った。昭和の戦時期には軍事教練や軍馬鍛錬会が行われた。空襲避難所・防空壕が造られたほか家庭菜園に変わった。

移設した三十三観音仏

1916（大正5）年から1945（昭和20）年ころまで飛鳥山公園の山周辺に楕円の形の遊歩道があり、道沿いに三十三観音像が配置されていた。

大正4年の「飛鳥山公園起業方法書」（市保存公文書、○印は観音様の設置予定ヵ所）

発端は1915（大正4）年に光雲寺住職北川実現と兵村の矢沢染三、藤倉祝八の３名連署で、名越源五郎村長あてに「飛鳥山公園起業方法書」提出したことに始まる。方法書は観音仏三十三体安置ほか、三間幅の遊歩道、サクラの植樹、休憩所の設置、さらには５か年以内に競馬場を設ける計画というもの。当時の写真は未見であるが、実際に観音様や四阿などが設置され江別の観光名所になったとされている。

公園は江別兵村公有地で観音設立の承諾書には、但し書きで兵村に事情が生じた時には移転することが条件となっていた。飛鳥山の観音様は宗派に関係なく、この事業に賛同の町内一円の寄進によるもの。1945（昭和20）年5月、元江別連合警防部から江別町長あてに防空壕構築の願書が提出され、但し書きにより観音像は隣接する光雲寺境内に移設された。

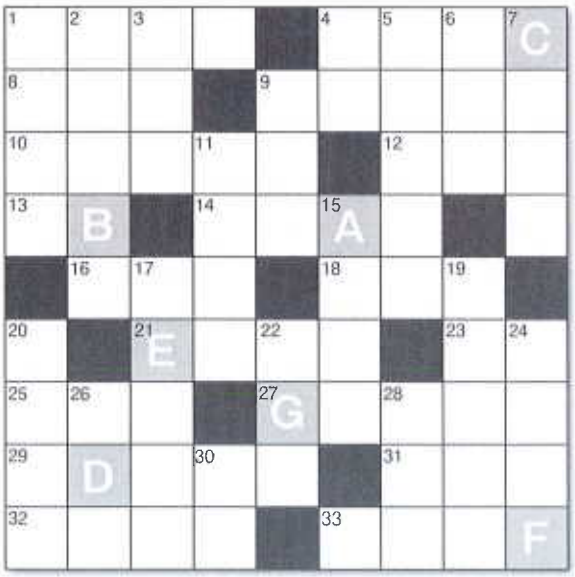
飛鳥山の表記は鳥（トリ）と烏（カラス）がある。一つは飛鳥山に建つ史跡に「飛烏山（旧競馬場）」とあるが、確認できている文書では、1890（明治23）年「飛鳥山神社創立源由来書並列祭事」に「飛鳥山」と表記されている。そのため、新江別市史には鳥「トリ」で統一して表記されている。

（参考：広報えべつ2004年7月号、同8月号、史跡が語る江別の歩み（2012）江別市教育委員会、江別屯田兵村史（1982）国書刊行会）

第92回 クロスワードパズル

今回の答えは［冬］にちなんだパズルを選定掲載いたしました。どうぞ解答をお寄せ下さい。

解答はハガキか用紙（自由）に記入して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、江別市工栄町15番地の1　江別工業団地協同組合広報委員会あて、2月18日までに郵送またはお届け下さい。正解者の中から抽選で10名様に粗品を郵送します。



第91回パズルの答え　※正解者総数は37名でした。

A	B	C	D	E	F	G	H
シ	ル	バ	ー	ウ	イ	ー	ク

正解者の中から抽選で次の10名の方に景品として㈱菊水の「札幌ラーメン寒干し醤油10人前」を郵送いたしました。

●当選者

梅　田　様（江別市）	土　肥　様（江別市）
大　森　様（札幌市）	西　尾　様（札幌市）
篠　田　様（夕張郡）	本　間　様（札幌市）
蘇　武　様（札幌市）	宮　北　様（江別市）
田　代　様（札幌市）	三　宅　様（江別市）

【タテのカギ】

1　こうなっても消防車はきてくれません
2　金銭欲の強い人
3　動かすことのできない芸術作品
4　うすくなると危ないそうです
5　風呂で使います。水を入れる器
6　ゆったりとくつろぐこと。休息
7　トンボの目
9　艱難〇〇〇
11　熱帯地方に多い伝染病の一つ
15　〇〇〇〇先は闇
17　アイスクリームの上に行儀よく乗っかっています
19　割算で割られるほうの数
20　剥けていい男になりました
22　市。チャリティー〇〇〇、リサイクル〇〇〇
24　ちり〜ん、ちり〜ん。夏の風物詩
26　乗組員
28　筍は春、南瓜は夏
30　おには〇〇、〇〇遊び、〇〇面

【ヨコのカギ】

1　蚊、蛇、虹…
4　この人が見るとテレビドラマになるそうです
8　春まで残っていて最後に溶けます
9　日本は違います
10　太った人はしません
12　「モナリザ」や「ローマの休日」など
13　東京、大阪、京都、北海道にはありません
14　卑怯者の〇〇〇〇はおされたくありません
16　無理が通るときは引っ込んでいます
18　あまりにも早く過ぎて行くもの
21　近距離航空便
23　うぬぼれ
25　特別に派遣すること。〇〇〇員
27　日没後の空に残る夕日
29　イタリアの有名なオペラ歌手。20世紀初頭のオペラ黄金時代を築いた人
31　おどして金品などを取り上げること
32　⇔ベスト
33　これが弱いと貧乏します

第91回パズルの答え

ア	タ	カ	■	フ	ナ	ツ	キ	バ
ン	■	バ	イ	リ	ツ	■	ヘ	ン
デ	ワ	■	コ	ー	ク	ハ	イ	■
ス	イ	レ	ン	■	サ	イ	タ	マ
■	ド	ア	■	シ	■	オ	イ	ル
ヤ	シ	■	ニ	キ	サ	ク	■	ガ
ジ	ヨ	ガ	ク	イ	ン	■	ヤ	リ
ユ	ー	カ	リ	■	バ	ツ	タ	ー
ウ	■	イ	ン	ガ	■	メ	イ	タ

クロスワードを解き、A〜Gをつないだ言葉が答えです。

A	B	C	D	E	F	G

組合予定行事

【1月】
17日（月）／「ついしかり」第154号発行
19日（水）／定例三役会
25日（火）／理事会

【2月】
3日（木）／広報編集委員会
15日（火）／健康体操ワンコインレッスン
15日（火）／職長・安全衛生責任者教育講習会 1日目
16日（水）／職長・安全衛生責任者教育講習会 2日目
17日（木）／定例三役会
17日（木）／福利厚生広報委員会
26日（土）／親睦麻雀大会

【3月】
2日（水）／低圧電気取扱者・労働安全衛生特別教育講習会
3日（木）／安全衛生委員会
10日（木）／販売購買委員会
15日（火）／共同受電事業委員会
16日（水）／定例三役会
17日（木）／総務委員会
29日（火）／理事会／5委員会合同会議